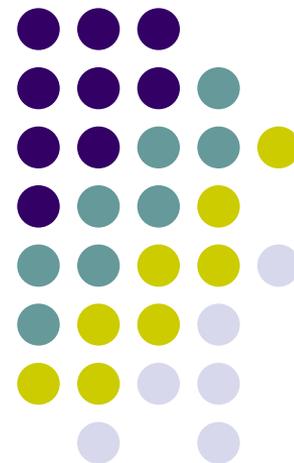


# 廣江先生の講演へのコメント

労働政策研究・研修機構 研究員 堀田聡子





# 1. こうほうえんー「進化」

- 人財と苦情が2大財産  
⇒ 変わる勇気、変える勇気
  - 開かれた施設
    - 利用者アンケート
    - 目安箱
    - 施設単位のオンブズマン(ふれあい橋の会)
    - 第三者評価(メイアイヘルプユー)
    - 病院探検隊(ささえあい医療人権センター)
    - . . .
- 議論・分析・改善、プロセスと対応を含めて情報公開

# 生きた理念と質の追求

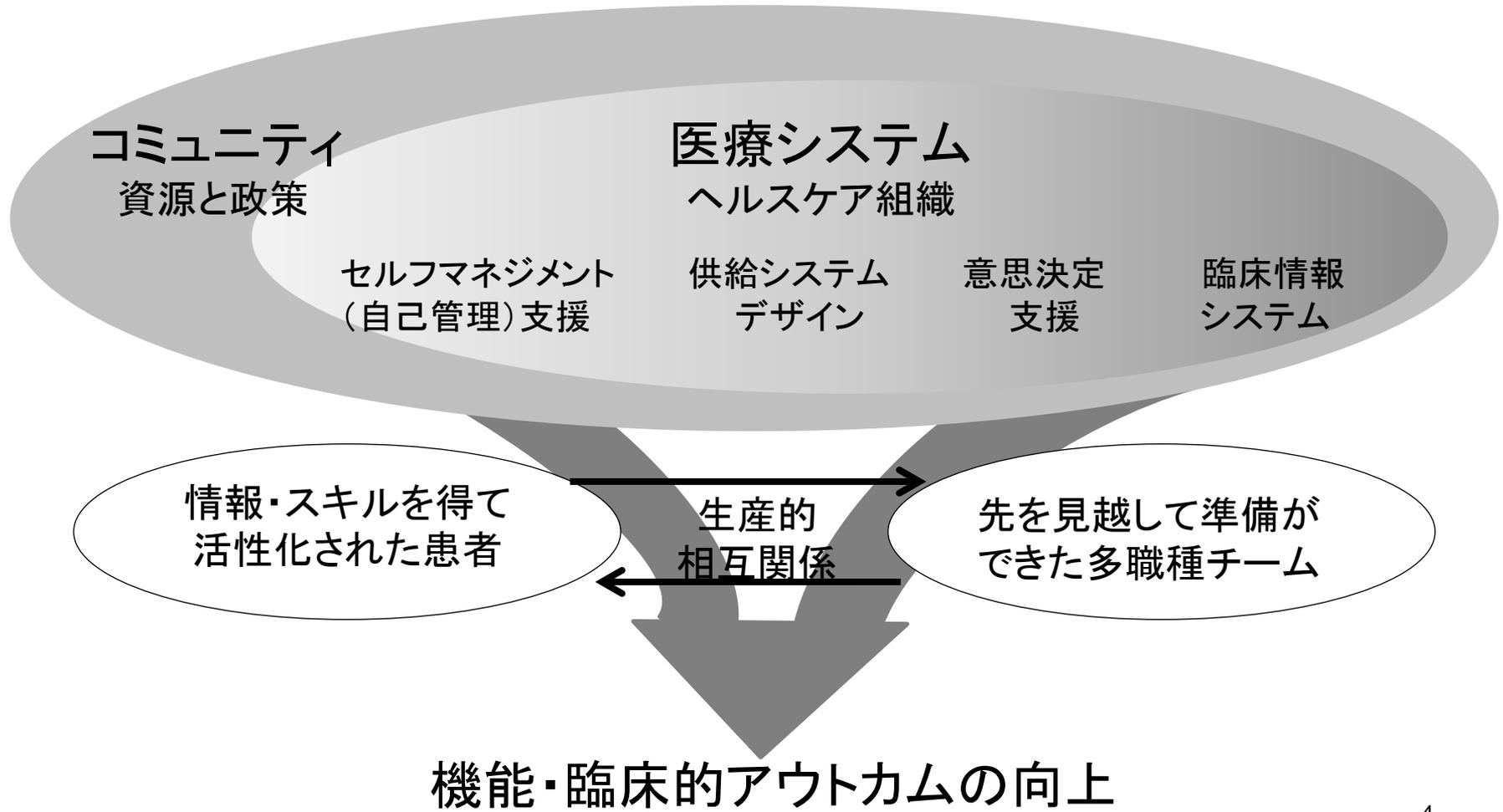


- 目標・方向性の議論・共有、役割の明確化
  - 3年後のありたい姿
  - 活動方針発表
  - 各エリア、事業、リーダー、チームが目指す方向の明確化
  - 毎月検証
- 利用者の尊厳を支えるケアへのこだわり
  - 身体拘束廃止、5カ条実施(6時間以上の離床、1500ccの水分確保、食べる、排泄/随時案内 15分以内)、意向を軸とする「生活支援計画書」、認知症ケアマッピング、ユニットケア、ケア効果の指標作成...
  - End of life care
  - 職員は法人の財産、職員への信頼、介護の専門性への信頼
    - エルダー制度、体系的な教育研修体系、人事考課
    - 職員研究発表会
    - オールジャパンケアコンテスト



## 2. こうほうえんと地域包括ケア

(参考) Wagnerらの慢性疾患ケアモデル



# (参考)慢性疾患ケアのための コアコンピタンス [WHO(2005)、Nolte and McKee(2008)]



## 1. 患者中心ケア

- 効果的なコミュニケーション
- 健康行動変容のサポート
- セルフマネジメント支援
- プロアクティブアプローチ

## 2. 協働 (Partnering)

- 患者と
- 他の提供者と
- コミュニティと

## 3. 質向上

- プロセス・成果の測定
- 学習→変化
- エビデンスを実践に反映

## 4. ICT

- 患者の登録
- パートナーとのコミュニケーション
- コンピュータ技術の活用

## 5. 公衆衛生視点

- Population-based care
- 予防重視とケアの連続を横断する働き
- プライマリケア主導のシステム

# 3.地域包括ケアのまちづくりに向けて



- 「地域ケア」の再編・充実
  - 予防、在宅医療、在宅ケア、ソーシャルワーク(×住まい)
  - 多職種協働プライマリケアとそのマネジメント
  - 連携のハブ×住民同士の関係強化 看護師等への期待
- 住民主体の自立したコミュニティづくり
  - 年代を超えたエリア×テーマコミュニティ
  - 住民発サービスの開発
- 地域を基盤とする学び
  - 学校教育 自立・自律・尊厳、地域へのコミットメント
  - 特定職種—多職種—プラス利用者・家族・住民・保険者

地域が選ぶ地域の最適



# 社会福祉法人への期待

- 利用者・入居者のQOLから地域のQOLへ
- ビジョンの明確化
- 実行領域の設定
- 開かれたガバナンス

## (参考)オランダの住宅協会の6つの実行領域

- ①低所得者層等のターゲットグループへの適切な住宅供給
- ②社会賃貸住宅のメンテナンス、リノベーション、新規建設等による質の維持
- ③事業計画作成や住宅管理にあたっての居住者との協議
- ④財政的な持続性確保
- ⑤近隣・コミュニティにおけるQOL向上 ※1997年に追加
- ⑥ケアを必要とする人々への住宅の供給(ケアとの連携) ※2001年に追加